

## 事前評価個表

整理番号	6
------	---

地域（地区）名	<small>もがみむらやま</small> 最上村山	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	山形県	対象市町村	<small>やまがたし</small> 山形市ほか 21 市町村
事業実施期間	R2 年度 ～ R6 年度（5 年間）	事業実施主体	県、市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、山形県の中央部から北東部に位置し、北は丁岳（1,146m）、神室山（1,365m）及び雄勝峠などの山岳により秋田県と、東は小鎚山（1,262m）、御所山（1,500m）などの奥羽山脈により宮城県と接しており、8市11町3村で構成されている。</p> <p>本地区の森林面積は316千haで区域面積の71%を占め、対象民有林が132千ha（森林全体の42%）、うち人工林は55千ha（人工林率42%）となっている。</p> <p>人工林の齢級構成は、Ⅲ齢級までが1千ha、間伐が必要なⅣ～Ⅹ齢級までが27千ha、それ以上が27千haと大きな偏りが生じており、後継者不足や木材価格の低迷による森林施業への関心が低下している現状で、今後、適切に保育間伐や主伐・再造林による資源の循環利用が実施されないと、水源涵養機能及び土砂流出防止機能等の森林が有する多面的機能の低下が懸念される。</p> <p>本事業は、森林の有する多面的機能の発揮や安定した林業経営を推進するため、伐採後の再造林、間伐等の保育及び効率的な森林整備に必要な路網整備を計画的に実施し、健全な森林の育成を図るものである。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：2,735ha 人工造林、下刈り、雪起こし、枝打ち、除伐、保育間伐、間伐等</p> <p>路網整備：林道開設 4,960m</p> <p>総事業費：1,596,329千円（税抜き 1,451,209千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C=2.53 （総便益（B）= 7,101,348千円、総費用（C）= 2,811,681千円）</p>
評価結果	<p><b>必要性</b>：森林の有する多面的機能の発揮や安定した森林経営が求められており、主伐・再造林や間伐等による資源の循環利用を行っていく必要がある為、本事業の必要性が認められる。</p> <p><b>効率性</b>：費用便益分析の結果から十分な効率性が認められるとともに、本事業を活用した計画的な森林整備及び路網整備により、施業地の集約化や生産コストの縮減が図られることから、事業の効率性が認められる。</p> <p><b>有効性</b>：本事業により、適切な森林整備を行うことで、水源涵養・<small>かん</small>県土保全等の森林の有する多面的機能の発揮が図られるとともに、木材生産の増大も期待できることから、事業の有効性が認められる。</p>

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：山形県

地域(地区)名：もがみむらやま  
最上村山

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	1,372,743	
	流域貯水便益	516,378	
	水質浄化便益	1,840,691	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,294,035	
環境保全便益	炭素固定便益	1,021,818	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	74,842	
	木材利用増進便益	7,547	
	木材生産確保・増進便益	583,916	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	54	
	森林管理等経費縮減便益	854	
	森林整備促進便益	388,470	
総 便 益 (B)		7,101,348	
総 費 用 (C)		2,811,681	
費用便益比	$B \div C = \frac{7,101,348}{2,811,681} = 2.53$		

# 森林環境保全整備事業 最上村山地域(山形県)概要図



最上村山地域